

ARLISS2008 参加に向けての技術的レビューの案内

ARLISS 日本側代表 中須賀真一 (東京大学)

審査取りまとめ 宮崎康行 (日本大学)、永谷圭司 (東北大学)

1. 目的

2008 年 9 月 15~19 日に実施される ARLISS に参加するチームが、十分にフライト実験に値する CanSat/Open class/Rover (以下 CanSat と総称) をアメリカに持っていけるよう、事前に技術的なレビューを実施する。目的は、①ARLISS 日程までに実験に値する CanSat が作れるかどうかを判断し、間に合いそうにない CanSat は現地での参加を認めない、②ARLISS 当日までに改修すべき点をフィードバックする、の 2 点である。ARLISS までの時間余裕を考えて、8 月上旬には決定することを目標として、書面・ビデオでの評価を行う。

2. レビュー項目

- 1) システムの全体構成、使用部品・機器などの説明
- 2) レビュー時点までの完成状況 (正直に)
- 3) (必須) 実施してきた試験 (単体試験、システム試験、フィールド試験など) およびその結果: 実験結果をビデオ (必須)、写真、グラフで示すこと。
- 4) ARLISS 当日までに、十分動くものができることの証明 (無理のない計画であること)

(注意) 内容の「正直さ」については、各大学の教員が責任を持って保証してください。内容は必ず教員が確認してください。

ミッション内容は問いません。「確実に動く」ことを目標にレビューします。

3. プロセス

- ① ARLISS への参加を希望するチームは、上記 1) ~ 4) を 正直に まとめた報告書を作成。(A4 で 5 ページ以内)
- ② 上記の報告書 (PDF で、ビデオは mpeg1) を 7 月 31 日までに電子メールで CANSAT は宮崎先生まで、ローバーは永谷先生に送ること。以下のアドレスあて。

miyazaki@forth.aero.cst.nihon-u.ac.jp (宮崎先生)

keiji@ieee.org (永谷先生)

ビデオファイル (10MB以下) はダウンロードできるようにして、先生方に入手法を指示ください。

- ③ 能代コンペに参加するチームは、そこでの成果が上記の書面とあまりに違う場合には審査のやり直しを行うので十分注意すること。
- ④ ARLISS 参加を許可できるかどうかの審査結果は電子メールで 8 月 7 日頃 (予定) までに送付する。

注) ローバーの審査については、8 月 7 日頃に日を合わせて、複数の会場でローバーの動作確認を実施したいと考えております。(今年は、能代ローバーコンペは、開催いたしません。) この日は、午前中に各会場で動作を行ってもらい、午後 (夕方) に、SKYPE 等の電子会議システム等を用いて、結果を先生方から報告していただきます。これをもって、ARLISS の最終レビューとしたいと思います。日時の確定、会場、実施方法等の詳細については、後日、ご連絡いたしますが、基本的には、フラットで広い場所において、着地からゴールまでのシーケンスを連続で実行できるか? という点を、この日に確認したいと考えております。